

らくらくミニ・ティラー

HONDA®

こまめ

F200 取扱説明書

お買いあげありがとうございました。

お買いあげいただき嬉しかったです

こまめ(F200)を

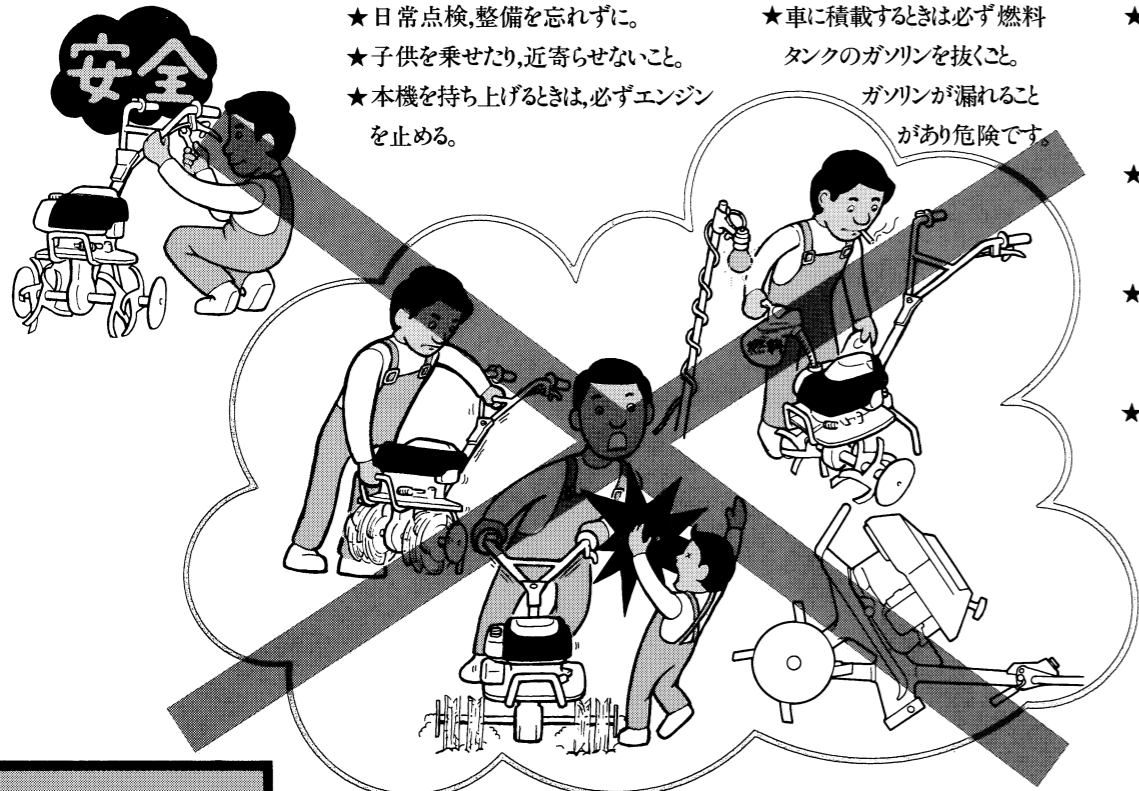
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を

お読みください。

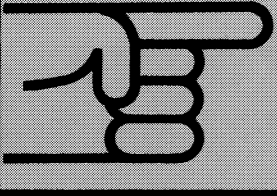


安全にお使いいただくために

次のことをお守りください。



- ★日常点検、整備を忘れずに。
- ★子供を乗せたり、近寄らせないこと。
- ★本機を持ち上げるときは、必ずエンジンを止める。
- ★車に積載するときは必ず燃料タンクのガソリンを抜くこと。
- ★ガソリンが漏れることがあり危険です。
- ★たき火などしている近くでは作業しない。また、格納の場合、火の気のないところに置くなど火災予防に十分注意する。
- ★ハウス内の作業は、一酸化炭素中毒にならないよう、換気に十分注意して使用する。
- ★ガソリン補給時は必ずエンジンを止め、タバコの火やたき火など火気厳禁のこと。
- ★衣服や頭髮、手ぬぐいなどが巻き込まれないよう、服装には十分注意する。
- ★作業中は土塊や石などが飛び散ることがあるので、まわりに十分注意する。
- ★作業機の取外しは平坦な安全な場所で行う。
- ★本機の保管時はエンジンを水平にする。



エンジンをかける前の点検・各部の名称

点検は平坦な場所でエンジンを水平に行ってください。

●エンジンオイル

点検1…エンジンオイルはありますか
 キャップを外し、新しいオイルをキャップに付いているゲージ上限まで補給してください。
 <指定エンジン オイル> ホンダ純正ウルトラ ネオ汎用機用 (SAE 30)、ウルトラ-U (2輪車用) または API 分類 SE 級相当のエンジンオイル
 <オイル容量> 0.45 ℓ
 オイル給油キャップ

●変速機オイル

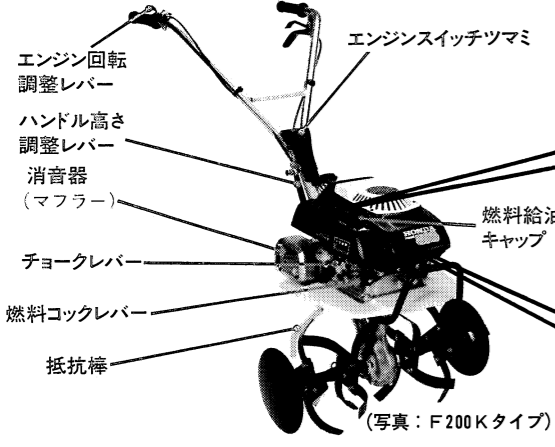
点検2…変速機オイルは入っていますか
 検油ボルトを外し、新しいオイルを検油穴から流れ出るまで補給してください。
 <使用オイル> エンジンオイルと同じ
 <オイル容量> 0.95 ℓ

●空気清浄器(エアクリナー)

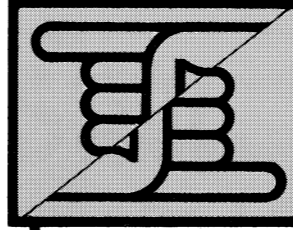
点検3…ろ過部は汚れていませんか
 汚れているときは、清掃してください。清掃方法は、定期手入れの項をご参照ください
 ろ過部 (ウレタン・紙製)

●ガソリン

点検4…ガソリンは入っていますか
 <使用ガソリン> レギュラーガソリン(無鉛)<容量> 0.85 ℓ
 ・火気厳禁
 ・必ずエンジンを止めて補給してください。
 ・ガソリンがこぼれたら完全にふきとってください。



(写真: F200Kタイプ)



エンジンのかけかた・とめかた

クラッチレバーを“切”(握った状態)にしてからエンジンをかけてください。

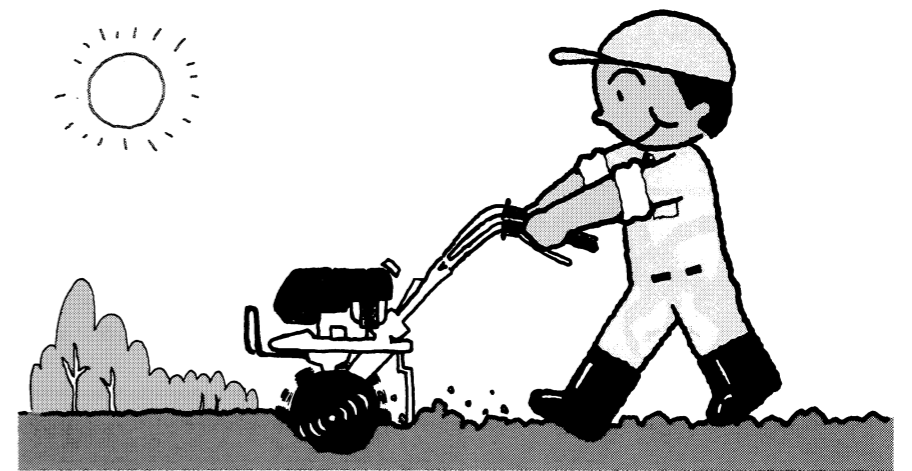
かけかた

- 1** 燃料コックレバーを“出”に合わせます。
- 2** チョークレバーを“始動”に合わせます。
- 3** エンジン回転調整レバーを“高”方向に少しまわします。
- 4** エンジンスイッチツマミを“運転”に合わせます。
- 5** 始動グリップを勢よく引きます。

注意
 ・始動グリップは静かに戻してください。
 ・始動グリップを急にはなすと、始動装置を破損することがあります。
- 6** エンジンがかかったら、エンジン回転が安定するのを確認しながら、チョークレバーを徐々に“運転”に戻します。

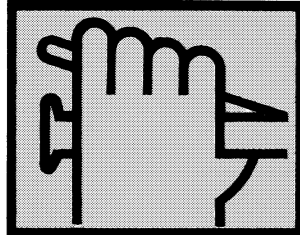
運転

※ 運転のしかたについては“運転操作のしかた”を参照してください。



とめかた

- 7** クラッチレバーを“切”にします。
- 8** エンジン回転調整レバーを“低”の位置に戻します。
- 9** エンジンスイッチツマミを停止に合わせます。燃料コックレバーを“閉”(OFF)に合わせます。

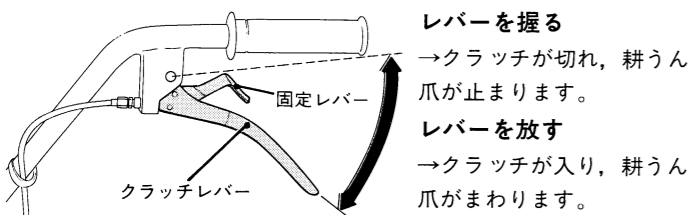


運転操作のしかた

安全な作業を行うために、十分に理解して行ってください。

①クラッチレバー

クラッチレバーの操作は、静か(スムーズ)に行います。急激な操作を行うと、機体が飛び出したり、エンジンが停止したりします。

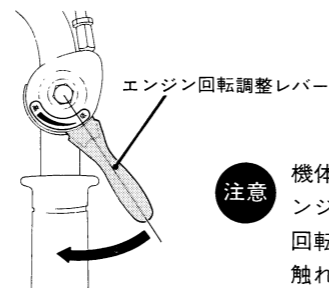


レバーを握る
→クラッチが切れ、耕うん爪が止まります。
レバーを放す
→クラッチが入り、耕うん爪がまわります。

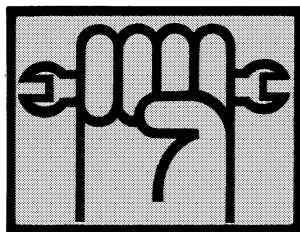
クラッチレバーを握ると自動的に固定レバーにより固定される。解除するときは、クラッチレバーを握りながら固定レバーを押し下げます。

②エンジン回転調整レバー

レバーを“高”方向にまわし、エンジン回転を上げます。



注意 機体を持ち上げるときは、必ずエンジンを止めてください。爪軸が回転し、衣類等を巻き込み人体に触れる恐れがあり危険です。



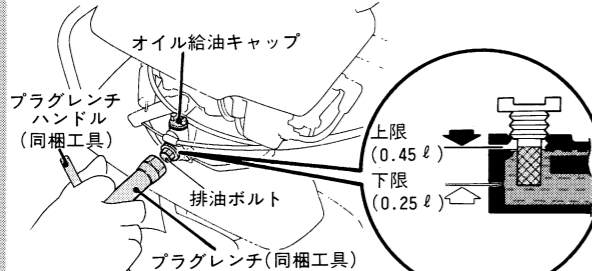
定期手入れのしかた

手入れは必ずエンジンを止めて、平担で安全な場所で行ってください。



手入れは「こまめに」
「やさしく」
「まじめに」
「やまじょう」

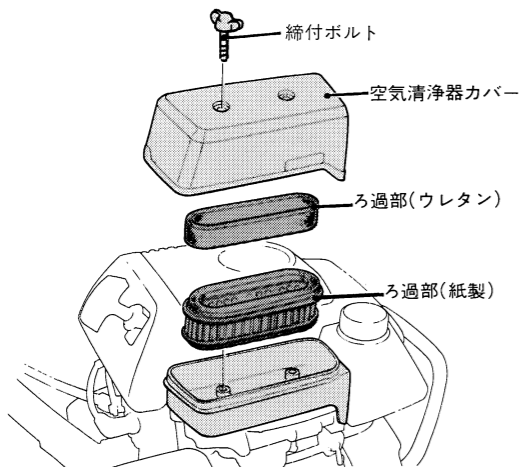
●エンジンオイル交換



＜交換のしかた＞

1. オイル給油キャップ、排油ボルトを外してオイルをぬきます。
2. オイルがぬけたら排油ボルトを確実に締めつけます。
3. エンジンオイルを給油キャップのレベルゲージで確認しながら上限まで注入します。
4. 注入後、キャップをプラグレンチハンドルで確実に締めつけます。

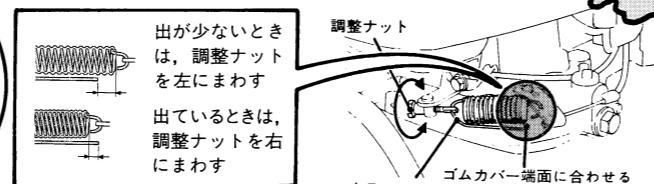
注意 エンジン停止直後にオイルをぬくときは、オイルの温度が高いため、火傷に十分ご注意ください。



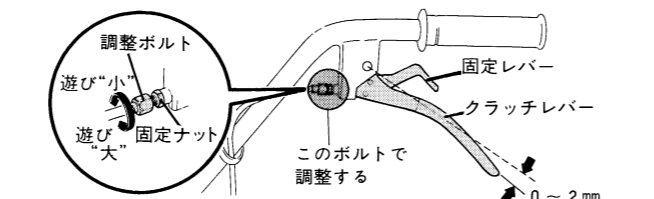
●クラッチワイヤー調整

＜調整のしかた＞

1. クラッチレバーを放した状態(クラッチが“入”の状態)で、クラッチスプリングの取付長さを図のように調整します。



2. クラッチレバーの遊びがレバー先端で0~2mmになるように調整します。



3. 調整後、調整ボルト、固定ナットを確実に締め付けてください。

●空気清浄器(エアクリナー)

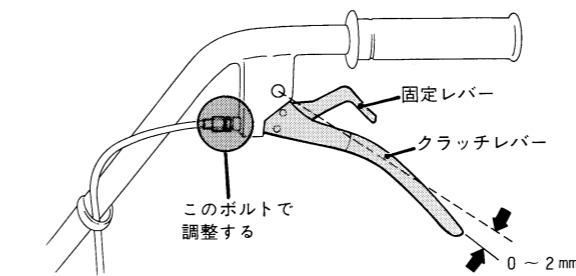
1. 締付ボルトをゆるめ、空気清浄器カバーを取り外します。
2. ウレタンのろ過部は、中性洗剤を水で薄めて洗い、さらに水ですすいでからよく絞って乾かします。エンジンオイルに浸した後、固く絞ってから取り付けます。
3. 紙のろ過部は、軽くたたいて汚れを落します。汚れがひどい場合は、交換するか、または中性洗剤を水で薄めて洗い、さらに水ですすいで洗剤をよく落とし、十分乾かしてから取り付けます。

・中性洗剤は食器洗いと同じ程度で薄めます。
※ホコリの多い所で使用した場合は、一日一回清掃してください。

50時間使用ごと

●クラッチワイヤー調整

(初回20時間使用後と同じ要領で行ってください。)

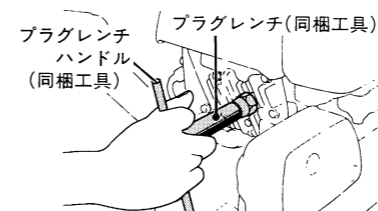


100時間使用ごと

●点火プラグ清掃・調整

＜清掃のしかた＞

1. プラグレンチ(同梱工具)で点火プラグを取り外します。
2. 針金かワイヤブラシで汚れを落します。

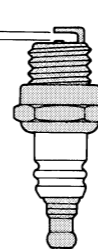


注意 エンジン停止後は温度が高いため、火傷をしないよう注意してください。

0.9~1.0mm
使用プラグ：
BPM4A-10
(NGK)

＜調整のしかた＞

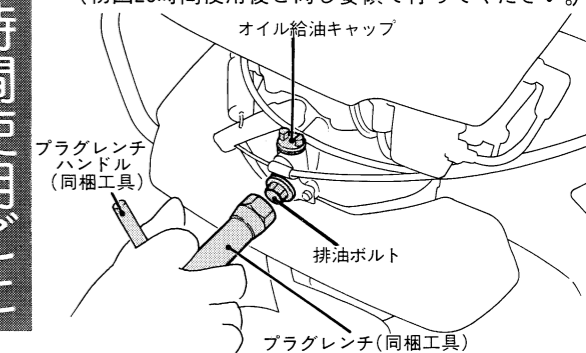
側方電極をつめ、火花すき間をはき4枚分(0.9~1.0mm)に調整します。



100時間使用ごと

●エンジンオイル交換

(初回20時間使用後と同じ要領で行ってください。)

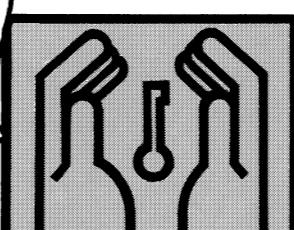
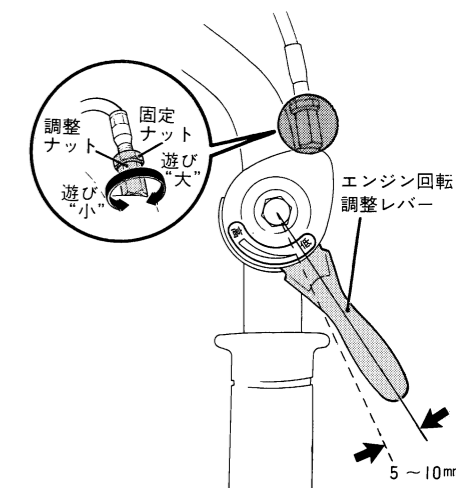


300時間使用ごと又は一年一回

●エンジン回転調整レバー

＜調整のしかた＞

エンジン回転調整レバーの遊びが、レバー先端で5~10mmになるように調整します。



長期保管時の手入れ

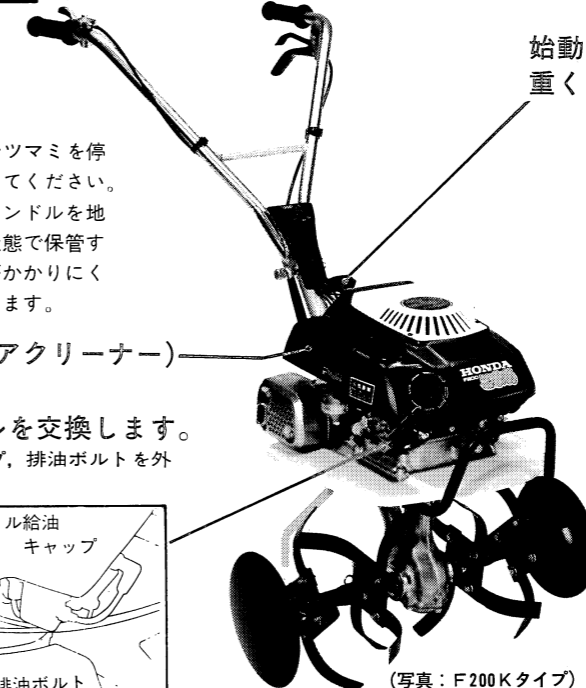
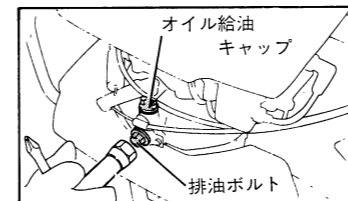
長期間使用しない場合、または作業を終わり長期間格納する場合は、次の手入れを行ってください。

注意

- ・エンジンスイッチツマミを停止に合わせて行ってください。
- ・抵抗棒を外し、ハンドルを地面につけた後傾状態で保管すると、エンジンがかかりにくくなる場合があります。

空気清浄器(エアクリナー)を清掃します。

エンジンオイルを交換します。(オイル給油キャップ、排油ボルトを外して行います。)



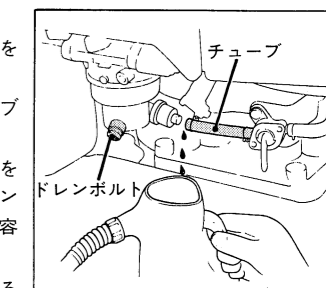
始動グリップを引き重くなったところで止めます

燃料タンク、気化器(キャブレター)のガソリンをぬきます。

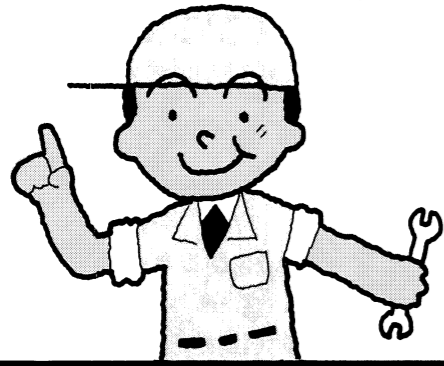
＜ぬきかた＞

1. 燃料コックレバーを“止”にする。
2. 気化器側のチューブを取り外す。
3. 燃料コックレバーを“出”にして、タンク内のガソリンを容器にぬく。
4. ドレンボルトをゆるめて、気化器のガソリンを容器にぬく。
5. 完全にぬけたらチューブ、ドレンボルトを元の状態に戻し、燃料コックレバーを“止”にする。

注意 燃料をぬくときは火気厳禁。
ぬいた燃料は安全に注意して保管してください。



(写真：F200Kタイプ)



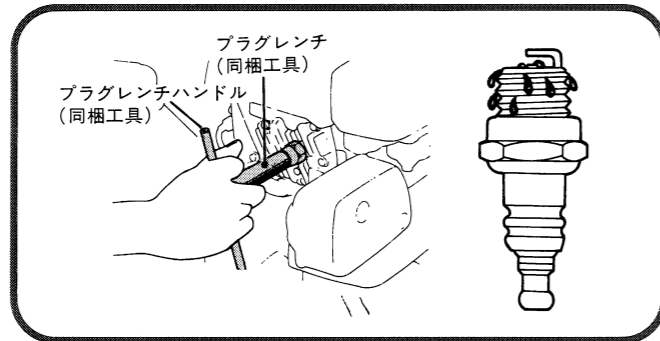
修理を依頼される前に、 まず、ご自身で次の点検を行ってください。

点検された上でなお異常のある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

★ エンジンがかからないとき

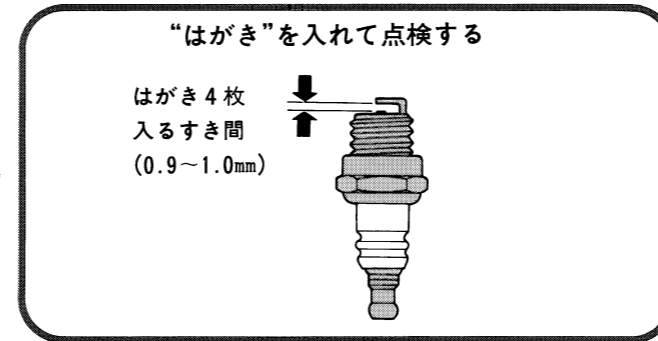
- ① エンジンがかかる前の点検はお済みですか
- ② かけかたは正しい順序でしたか

③ 点火プラグがぬれていませんか



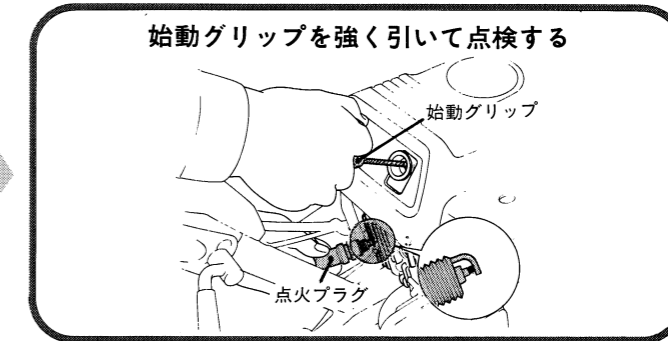
● ぬれているときや汚れているときは布できれいにふいてください。

④ 点火プラグのすき間は正しいですか



● すき間が正しくないときは、はがきが4枚入るようにしてください。3枚では狭く、5枚では広すぎます。

⑤ 点火プラグから火花が出ますか

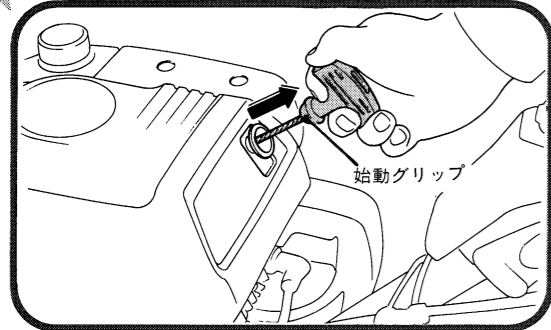


● 火花が出ないときは、新しいプラグと交換してください。

注意

- ガソリンが付着していると引火するおそれがありますので、完全にふき取ってから行ってください。
- 必ずプラグ穴から離れたところでプラグキャップを持ってアースしてください。

★ 始動グリップを引いておもしろいとき



抵抗棒を外して、後に傾けた状態で放置したり、運搬したときに起きることがあります。

● オイルがたまっているときは

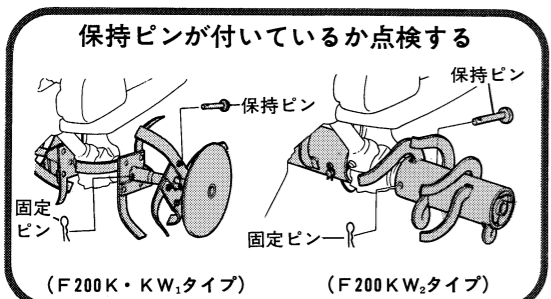
1. エンジンスイッチツマミを停止にして、点火プラグを外す。
2. 始動グリップを数回引いて、オイルを吐き出させる。
3. オイルが出切ったことを確認する。
4. 点火プラグにオイルが付着しているときは、布できれいにふき、エンジンに取り付ける。
5. プラグキャップを点火プラグに押し込んで固定する。

★ 振動が多い・異常な音が出る時

★ クラッチを切っても耕うん爪が止まらないとき

注意 コンクリート等の固い路面や、冷却時(0℃以下)等ではクラッチを切っても、耕うん爪がしばらくの間自走することがありますが、異常ではありません。

★ エンジンがかかっている、クラッチを入れても耕うん爪が回らないとき



耕うん爪の保持ピンが外れていませんか

● 外れているときは、保持ピンを取り付け、固定ピンで固定します。

注意 必ずエンジンを止めて行ってください。

ボルトナット類がゆるんでいないか、調べてください。

クラッチの調整は正しいですか

クラッチスプリング、レバー先端の遊びを点検する。

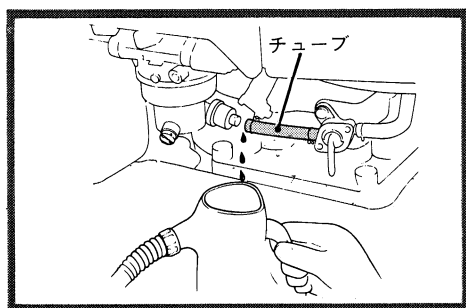
● 調整が正しくないときは、クラッチレバーをはなした状態で

- ① クラッチスプリングの取付長さをゴムカバーの端面に合わせる。→調整は、調整ナットで行います。
- ② レバー先端の遊びが0~2mmになるように調整する。→調整は、固定ナットをゆるめ調整ボルトで行います。

(F200K・KWタイプ) (F200KW2タイプ)

車への積載のしかた

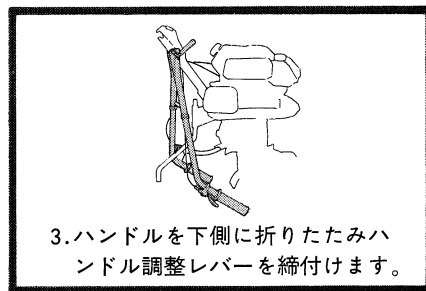
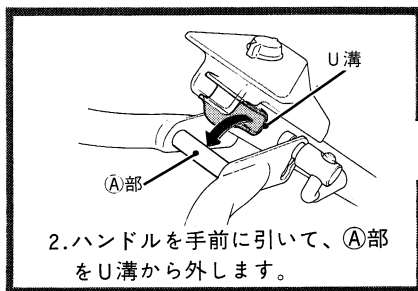
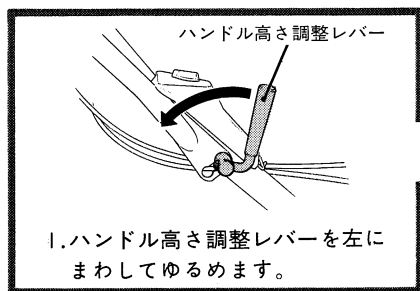
●燃料タンクのカリンを抜いてください。(ぬきかたについては長期保管時の手入れの項参照)



注意

- 車に積載するときは必ず燃料タンクのカリンを抜いてください。ガソリンが漏れることがあり危険です。
- 本機を後に傾けて積載しないでください。(始動困難になることがあります。)
- 耕うん爪を外して積載したときは、必ずグラスガードを忘れないで取付けてください。

●積載時ハンドルを折りたたむときは、次の要領で行ってください。



(写真：F200Kタイプ)

■ 主要諸元

型 式	F200			名 称	ホンダG100
区 分	F200K	F200KW ₁	F200KW ₂	形 式	空冷4サイクル気筒横形ガソリン
機 体 寸 法	全長(mm)	1,070		総排気量(cc)	76
	全幅(mm)	585(タインディスク)		出力 回転速度 (PS/rpm)	1.4/3,600(最大2.0/4,200)
	全高(mm)	960		使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
ハンドル幅(mm)	535		燃料タンク容量(ℓ)	0.9	
重 量 (ローター付)	27	27.5	25	点 火 方 式	無接点マグネット点火
主クラッチ方式	シークラッチ式			始 動 方 式	リコイルスターター
安全鑑定適合番号	502010			変 速 段 数	前進：1段

※ 標準装備仕様

F200K：フレンチロータ

F200KW₁：フレンチロータ，延長フェンダ

F200KW₂：ドラムロータ，延長フェンダ

＜ご相談窓口＞

名 称	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
株式会社ホンダサービス 北海道業務室お客様相談窓口	011(261)2073	060	北海道札幌市中央区北一条西7-1 〈本田技研工業㈱北海道支店内〉
株式会社ホンダサービス 東北業務室お客様相談窓口	0222(24)6002	980	宮城県仙台市土樋1-11-2 〈本田技研工業㈱仙台支店内〉
株式会社ホンダサービス 北関東業務室お客様相談窓口	0272(61)0335	379-21	群馬県前橋市上長磯町314 〈㈱ホンダサービス前橋センター内〉
株式会社ホンダサービス 南関東業務室お客様相談窓口	03(486)6271	150	東京都渋谷区神宮前6-27-8 〈本田技研工業㈱東京支店内〉
株式会社ホンダサービス 中部業務室お客様相談窓口	052(251)7651	460	愛知県名古屋市中区千代田1-7-2 〈本田技研工業㈱名古屋支店内〉
株式会社ホンダサービス 近畿業務室お客様相談窓口	06(312)0151	530	大阪府大阪市北区南扇町7-31 〈本田技研工業㈱大阪支店内〉
株式会社ホンダサービス 中・四国業務室お客様相談窓口	0862(41)4446	700	岡山県岡山市西長瀬字中須加221 〈㈱ホンダサービス岡山センター内〉
株式会社ホンダサービス 九州業務室お客様相談窓口	092(271)2020	812	福岡県福岡市博多区祇園町8-7 〈本田技研工業㈱九州支店内〉

- 所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。
- ホンダサービスの各地区センターの所在地は別紙の住所一覧をご覧ください。

